



なつやす 2012 夏休み号 ぐう

わらべ 和良辺

こうちようしつ 校長室たより

(5)

たはらしりつどうほしょうがっこう

田原市立童浦小学校

こうちよう 校長 間 瀬 勝 哉



ちくしみんかん ぼうさい がっ にち にじゅうよっか ねんせい めい い
地区市民館で防災キャンプ(8月23日～24日)。6年生62名が「みんなが生



ひなんじょづく きていける」避難所作り。アイデアいっぱいの設計図を見せながらみんなの前で発表
せつけいず み まえ はっぴよう



ぜんいん とうひよう ひなんじょ き さん
して、全員の投票で避難所のレイアウトを決めました。みんなの12案について、
ほんねんど しどう いただ きょうとだいがく おくむらせんせい はなし き
本年度から指導して頂いている京都大学の奥村先生から、お話を聞きました。



なつやす 2012 夏休み号

わらべ 和良辺

こうちょうしつ 校長室たより

(6)

たはらしりつどうほししょうがっこう

田原市立童浦小学校

こうちょう 校長 間瀬 勝哉



いちばん ばん せつけいず ひなんじょづく ゆうしょくづく ぼうさい しりょうづく
一番になった1班の設計図で避難所作り、夕食作り、防災の資料作りをしました



しょくじ ひじょうしょく
た。食事は、非常食です。

よる ちいき かたがた おくむらせんせい はなし き
夜は地域の方々と奥村先生のお話を聴きました。



ふつかめ しみんかん びちく きかい きゅうじょき き み ちか いんりょうようちよ
二日目は、市民館に備蓄されている機械や救助機器を見ました。地下の飲料用貯



すい く あ さいご がくしゅう せいかはっぴょう き うつく あとかたづ
水も汲み上げました。最後は学習の成果発表と来たときよりも美しく後片付け。



2012 夏休み号

わらべ 和良辺

校長室たより

(7)

たはらしりつどうほしょうがっこう
田原市立童浦小学校
校長 間瀬 勝哉

もんぶかがくしょう 文部科学省から委嘱を受け、市生涯学習課さん、校區コミュニティ協議会さんをはじめ沢山の地域団体さんの御協力のもと、地区市民館で防災キャンプをしました。津波から生き延びても避難所で死ぬことがないように、自分のこととして考え学習しました。避難所レイアウトは、防犯、フリースペース、荷物の受け渡し、周りの人への気配り・目配りなどを入れて作りしました。講師の奥村先生から、『明治三陸大津波（一八九六）』は、小さな地震の後に来た。しかも、夜、端午の節句の日でみんなが楽しんでいた時に来たため、日本で最大の被害となった。」と聞きました。そして、「一人でも死んだらみんなが悲しくなる。だから、一人も死んだらアカン。」と言われました。子ども達からは、「避難所生活になっても、この体験を活かしてみんなで助け合って生き抜きたいです。」「私の家では、防災の準備がどうなっているか調べたいです。」などと、沢山の感想が出ました。最後に奥村先生から「思った時がスタートです。今できる事は、今です。よりよい方法を考える。周りの人たちへの思いやり、助け合いを大切にする。これは、毎日の学校生活で大切にしていることですよね。毎日の生活を大切にしましょう。」と言われました。